

## 高齢者対策

### 休園保育所を宅老所に活用できないか

#### 協議を進め直ちに取組み

 / 町長

やました いっこ 議員  
山下 伊都子

### 問

町長は一人暮らしの高齢者を見守る仕組みづくりを充実させる二重、三重のセーフティネットをつくりたいと表明された。地方自治体の役割は住民の命と暮らしを守ることを日頃訴えている私にとっては町長の示した重点課題を注視したい。

2010年の高齢社会白書によると、一日中会話しない一人暮らしの高齢者が35%、困ったときに頼れる人がいるのかという問いには、いないと答えた人が22・7%にも上

### 答

り、孤独な社会の日本を表している。私たちの町でも例外ではない。一人ぼっちの高齢者をつくらぬシステムづくりが今緊急で、重要な課題になっている。佐賀地域には宅老所がない。休園の保育所を利用した宅老所が出来ないか問う。

### 大西町長

校区ごとに宅老所の機能の整備をといて指摘をいただき、この場では断言できないが、宅老所の機能が福祉向上と医療費抑制につながるという認識は持っている。継続可能なネットワーク作りに取り組みなくてはならないので、地域やボランティア、町内で活躍されている各種団体の方にご協力をお願いしたい。数回の協議が必要で、直ちに取組み掛かる予定だ。

### 狭い事務所の検討を

#### 他の部屋利用を検討

 / 町長

### 教育委員会 配置場所

### 問

教育行政は、行政と独立して中立でなければならぬ。現在佐賀庁舎に委員会が移転した。

### 答

委員会は先生たちや生涯学習教育相談など多岐にわたって活動が必要。訪ねてくる方もたくさんいる。事務所移転にどの様な論議をしたのか。このまま狭い事務所でのよいのか聞く。

### 大西町長

### 坂本教育次長

### 大塚地域住民課長

委員会は全体的に狭いが係

が一つになり職員間の連絡、意思疎通、書類の決済等事務の効率化にもつながっている。

学校の先生方をはじめ、保護者や住民の方も多く、対応するための余裕スペースも、現在はない状況で、大変ご不便をお掛けしている。必要に応じて一階の町民室等を利用して対応をしていきたい。

### 情報基盤整備

### NHK基地局で 民放受信の要望を

#### ケーブルテレビ 加入促進を／総務課長

### 問

町が情報基盤整備を進めている関係で、いまだに佐賀地域はデジタルテレビが見えない。

黒潮町では、大方地域はケーブルテレビに加入しなくてもデジタル放送は受信ができ、佐賀地域では、このままではNHKの基地局が9月に完成しても、NHKだけしか受信ができない。私は情報基盤整備が始まるときから、低所得

者や高齢の方たちがこれ以上の負担はできないとの声を挙げてきた。

国が進めたデジタル化によって町は情報基盤整備を進めた。テレビを見るために1050円も払わなくてはならない。佐賀地域でもケーブルテレビが始まって、選択できるようにするべきではないか。

### 答

### 松田 総務課長

黒潮町の状況として、この事業は必要であるという考えで進めている。高齢化が進展している中で、利用料の問題は確かに厳しいことが想定されるが減免措置があり状況によって活用していきたい。佐賀地域といわず、共聴アンテナでテレビを見ているところは基本的に光ケーブルに入らなければテレビは見えない。今の状況では民放はアンテナを立てることは難しい。